

2021年11月24日

**消化管における早期がんやポリープなどの内視鏡的治療に対応
高周波焼灼電源装置「ESG-150」を発売
シンプルなモード選択により、ニーズに応じた切開・凝固性能を簡単に調整可能**

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO:竹内 康雄）は、医師の求める切開・凝固性能を、手技に応じて簡単に選択し、出力できる高周波焼灼電源装置「ESG-150」を2021年11月24日から国内で発売します。

オリンパスは、経営理念「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」のもと、医師の方々を技術的にサポートし、内視鏡の手技開発にも貢献してきました。今ではポリペクトミー(内視鏡的ポリープ切除術)や、EMR(内視鏡的粘膜切除術)、ESD(内視鏡的粘膜下層はく離術)、EST(内視鏡的乳頭筋切開術)などの手技※1により、消化管の早期がんやポリープなどであれば多くの場合内視鏡的治療で低侵襲に切除可能とされています。

今回発売する「ESG-150」は、高周波治療のさまざまな手技（ポリペクトミーやEMR、ESD、ESTなど）に対応した電源装置です。手技や医師のニーズに合わせて内視鏡処置具に供給する電力を制御し、切開・凝固性能を調節できます。ベーシックモードであれば、7つのモードと最大5段階から選べる出力値を選択すれば、簡単に操作できます。またベーシックモード以外にも、詳細設定が可能なアドバンスモードを搭載しており、手技の難易度や医師の好みに合わせて選択可能です。

さらに操作部にタッチパネルを採用したことで、シンプルかつ直観的に使用可能です。オリンパスは多様化する手技や医師のニーズに合わせた製品を提供し、より効率的な治療の実現に貢献します。

※1 各手技の詳細は右記の URL 参照 「おなかの健康ドットコム」 <https://www.onaka-kenko.com/>

■発売の概要

販売名	発売予定日
高周波焼灼電源装置 ESG-150	2021年11月24日

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ(株)です。

■主な特長

1. 手技や医師のニーズに合わせて、切開・凝固性能を簡単に調節可能
2. ユーザーの操作性を向上する直感的なインターフェース



■ 開発の背景

前機種「ESG-100」をご使用いただいている医師の方々から、ESD などの難易度が高い手技においては、より詳細に出力を制御したいという声をいただいていた。またその一方で、ベーシックな手技においてはシンプルかつ簡単に使いたいというご要望もあり、両者のニーズを満たすため、ベーシックモードとアドバンスモードを搭載した「ESG-150」を開発しました。

■ 主な特長の詳細

1. 手技や医師のニーズに合わせて、切開・凝固性能を簡単に調節可能

ベーシックモードでは切開能力と凝固能力のバランスを 7 種類のモードから選択します。次に最大 5 段階から選べる出力値を選択すれば、簡単に使用できます。詳細に出力値を設定できるアドバンスモードにおいても、ベーシックモードと同様 7 つのモードから選択した後、出力値を決める 2 つのパラメータ（ワットとエフェクト）を用いて、自由に出力値を設定できます。



切開能力と凝固能力のバランスを選択



ベーシックモード（左）とアドバンスモード（右）設定画面

2. ユーザーの操作性を向上する直感的なインターフェース

操作部を従来のボタン式からタッチパネルへ変更しました。直感的な操作が行えることで、ユーザーの操作性が向上し、迅速で正確な治療をサポートします。



本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスの治療機器事業について

オリンパスの治療機器事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。ポリプ切除用のスネア開発に始まり、様々な製品が疾患の予防、診断、治療に役立っています。詳しくは、www.olympus.co.jp/をご覧ください。